

横浜市福祉サービス第三者評価
評価結果報告書
パレット保育園・大豆戸

平成29年3月

評価実施機関

特定非営利活動法人

よこはま地域福祉研究センター

目 次

実施概要.....	1
評価結果についての講評.....	2
分類別評価結果.....	4
評価領域Ⅰ 利用者（子ども本人）の尊重.....	4
評価領域Ⅱ サービスの実施内容.....	7
評価領域Ⅲ 地域支援機能.....	10
評価領域Ⅳ 開かれた運営.....	11
評価領域Ⅴ 人材育成・援助技術の向上.....	12
評価領域Ⅵ 経営管理.....	13
利用者家族アンケート分析.....	14
利用者本人調査.....	18
事業者コメント.....	21

◆ 実施概要 ◆

事業所名	パレット保育園 大豆戸
報告書作成日	平成29年2月15日 (評価に要した期間5ヶ月間)
評価機関	特定非営利活動法人 よこはま地域福祉研究センター

*評価方法

1. 自己評価	【実施期間：平成28年10月17日～12月16日】 ・職員会議で、周知後、全職員が自己評価を記入した。 ・個々の自己評価をもとに、項目ごとに分担して話し合いを進めた。 その後、施設長、副施設長が意見のまとめをおこなった。
2. 利用者家族 アンケート調査	【実施期間：平成28年11月7日～11月21日】 配 付：全園児の保護者（59家族）に対して、園から手渡しした。 回 収：保護者より評価機関に直接返送してもらった。
3. 訪問実地調査	【実施日：平成28年1月23日、1月25日】 ■第1日目 午 前：各クラスの保育観察～園児と一緒に昼食をとる。 午 後：書類調査／事業者面接調査（施設長、本部担当者） ■第2日目 午 前：各クラスの保育観察～園児と一緒に昼食をとる。 午 後：職員ヒアリング調査 (副施設長・保育士3名・非常勤保育士1名・栄養士1名) 事業者面接調査（施設長、本部担当者）
4. 利用者本人調査	【実施日：平成28年1月23日、1月25日】 ・訪問実地調査の両日とも各クラスの午前中の保育時間を中心に、食事、排せつ、午睡の状況、登降園の様子等を観察。 ・乳児については主に観察調査、幼児については観察と食事の時間等に適宜聞き取り調査を実施。

◆ 評価結果についての講評 ◆

【施設の概要】

パレット保育園・大豆戸は、JR横浜線・東急東横線「菊名駅」より徒歩約12分、環状2号線から少し入った住宅地にあります。平成27年（2015年）4月、株式会社理究により開設されました。

園の施設は、鉄骨造り2階建てで、1階が保育室（乳児クラス3室）、事務室・医務室、2階が保育室（幼児クラス3室）、厨房、相談室などとなっています。1階保育室の外側に園庭があります。

定員は、60名（0～5歳児、生後6ヶ月過ぎより）で、開園時間は、平日は7時～20時、土曜日は7時～18時です。

保育理念を次のように定めています。

”ひとりひとりに生きる力を！”

1. ひとりひとりを「大きな家族」の一員として認め、役割を認識させ、愛情を持って育てます。
2. ひとりひとりの子どもを見極め、発達段階に応じ、「感性・知性・体力を培う」三位一体のバランス保育・教育を信条として育てます。
3. ひとりひとりが意欲的な生命力を発揮できるよう「自立と自尊と自律」の精神を大切に育てます。

保育理念に基づき、保育の目標を次のように掲げています。

1. スタッフは園児が喜びをもって自発的に活動できるような言葉がけをし、自らがお手本となるような行動をとる。
2. スタッフは子どもたちの安全・安心で健康的な生活を確保し、主体性を尊重しながら保育する。
3. スタッフは家族の一員としてお互いを認め合い、子どもたちの成長のために、全員で一人ひとりの子どもたちを受け止めていく。

保育の方針は、次のように定めています。

「保育所保育指針」に準じ、保育・養護の視点と発達・教育の視点で、「健康」・「人間関係」・「環境」・「言葉」・「表現」の五領域を縦断的にとらえ、子どもの成長に合わせ、子どもの力を最大限に引き出すよう努めます。

1. 高く評価できる点

●子どもたちは、のびのびと、元気に遊び、さまざまな活動の中で、多くのことを学んでいます

天気の良い日は、園庭や散歩先の公園などで、子どもたちは思いっきり遊んでいます。公園では、鬼ごっこやかくれんぼなどをして走り回ったり、固定遊具（ブランコ、滑り台、鉄棒など）に挑戦したり、積極的に遊んでいます。何人かで集まったり、一人で好きなことに熱中したり、思うままに過ごしています。

園庭では、追いかけて走り回ったり、ごろごろと芝生の上を転がったり、身体を大きく動かし、枯芝が髪の毛やジャンパー、ズボンにつくのもかまわず、子どもたちは楽しんでいます。「妖怪退治」や「けんけん相撲」など、設定された運動プログラムも取り入れられています。

室内の自由遊びでは、ミニカーを走らせたり、ブロック、オセロゲームで遊んだり、お絵かき、塗り絵をしたり、好きなことに熱中しています。4、5歳児クラスでは、発表会に向けて、ピアノやハンドベル演奏の練習をし、保育士の指揮する手を見ながら、みんな真剣に取り組んでいます。

また、食育の一環として、例えば、プランターで、オクラ・トマト・ナスなどの野菜を栽培し、切る・むく・炒めるなどの調理体験をしています。また、畑でさつまいもを育て、芋ほりをして、絵に描いてから、給食で食べることもしています。飼育の面では、バッタやカブトムシを育て、観察し、命の大切さや繋がりを学んでいます。

これらの活動の中で、保育士は、子どもたちが園生活を楽しめるように支援しています。例えば、戸外での遊びでは、保育士も子どもたちと一緒に走ったり、追いかっこに参加したりして、子どもの気持ちを保育士自身も感じ取るようにしています。言葉遊びや歌、制作やお絵かき、遊びや運動などの活動を計画的に取り入れ、子どもたちが楽しみながら、さまざまなことを学べるよう全職員で取り組んでいます。

●職員は、より質の高い保育を目指し、努力しています

職員は、園内研修や保育事業部が行う研修に参加しているほか、横浜市こども青少年局などがおこなう外部研修にも積極的に参加しています。また、「スタッフできたかな表」（自己評価表）に基づき、年度初めに自己目標を設定し、年2回、達成度の評価をおこなっています。研修で得た知識や自己研鑽の成果などを、日々の保育に活かすとともに、クラス会議・乳児会議・幼児会議などにおいて、職員どうして振り返りをおこない、よりよい保育となるように努めています。

2. 独自に取り組んでいる点

●「パレット学習タイム」を実施しています

専門講師による「パレット学習タイム」の時間が週1回設けられ、0歳児～5歳児までクラスごとに実施されています。講師は、プロジェクターに写した絵を示しながら、絵本の読み聞かせをします。声を大きくしたり小さくしたり、抑揚をつけたり、話の内容に応じた話し方をします。子どもたちは集中してお話を聞いています。お話のあと、子どもたちは、絵本の内容に応じたプリントを使い、色を塗ったり、線を弾いたり、色紙を貼ったりします。絵本やお話は、年齢に応じたものが選ばれています。

絵本を通して、子どもたちが、ことばの響き・リズム・使い方・ニュアンスなどの感覚を磨き、自然と豊かな語彙力がつくようにしています。

3. 工夫・改善が望まれる点

●地域の子育て支援に取り組むことが望めます

開園2年目と日が浅く、相談事業や園庭開放等の子育て支援サービスはまだおこなわれていません。施設長は、港北区園長会、私立園長会、幼保小連絡会等に出席し、子育て支援ニーズを把握し、園の運営会議、リーダー会議等で話し合っています。現在、絵本の貸し出しや園庭開放などを検討中です。いつまでにおこなうかなど具体的な計画を立て、実施することが望めます。

◆ 分類別評価結果 ◆



3つ：高い水準にある / 2つ：一定の水準にある / 1つ：改善すべき点がある


評価領域 I 利用者（子ども本人）の尊重


評価分類 I-1 保育方針の共通理解と保育課程等の作成	評価結果
<ul style="list-style-type: none"> • 保育理念を次のように定めています。 ”ひとりひとりに生きる力を！” 1. ひとりひとりを「大きな家族」の一員として認め、役割を認識させ、愛情を持って育てます。 2. ひとりひとりの子どもを見極め、発達段階に応じ、「感性・知性・体力を培う」三位一体のバランス保育・教育を信条として育てます。3. ひとりひとりが意欲的な生命力を発揮できるよう「自立と自尊と自律」の精神を大切に育てます。 • 保育理念に基づき、保育の目標を次のように掲げています。 <ol style="list-style-type: none"> 1. スタッフは園児が喜びをもって自発的に活動できるような言葉がけをし、自らがお手本となるような行動をとる。 2. スタッフは子どもたちの安全・安心で健康的な生活を確保し、主体性を尊重しながら保育する。 3. スタッフは家族の一員としてお互いを認め合い、子どもたちの成長のために、全員で一人ひとりの子どもたちを受け止めていく。 • 保育の方針は、次のように定めています。「保育所保育指針」に準じ、保育・養護の視点と発達・教育の視点で、「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」の五領域を縦断的にとらえ、子どもの成長に合わせ、子どもの力を最大限に引き出すよう努めます。 • 年度初めに、保育理念・保育の目標などを職員に説明しているほか、職員会議で定期的に読み合わせをしています。 • 保育課程は、子どもの最善の利益を第一義とし、保育理念・保育目標を踏まえて作成しています。作成にあたっては、保護者の就労状況などを考慮しています。また、保育課程に基づき、年齢ごとに、年間指導計画・月間指導計画・週案を作成しています。年間指導計画については、クラスごとに保護者に説明していますが、今後は、保育課程についても入園時や年度初めに配付するなどして、説明することが望まれます。 • 職員は、活動や遊びの中で、子どもの表情や態度、仕草などから興味や関心を汲み取り、適切な対応をするよう心がけています。また、言葉で自分の思いを伝えることができる子どもからは、丁寧に聞き取るようにしています。 • 指導計画は、子どもの自主性や主体性を育て、発揮できるよう配慮し作成しています。また、子どもの状況や様子に応じて、その日の活動を変更したり、週案を見直すなどしています。 	


評価分類 I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施	評価結果
<ul style="list-style-type: none"> ・入園説明会の際、生育歴や家庭での状況などを記入してもらい、その後、保護者と面談しています。 ・保護者との面談の際に、子どもの様子を把握しています。 ・保護者から提出された資料や面談時の記録は、個人別にファイルし、事務室の決められた書庫に保管しています。 ・短縮保育（ならし保育）は、保護者と相談し、個別に対応しています。 ・0、1歳の新入園児に対し、主担当保育士を決めています。 ・乳児クラスは、連絡ノートを使って、毎日きめ細かく情報交換しています。幼児クラスは、必要に応じ連絡ノートで情報交換しています。 ・0歳児クラスから1歳児クラスへ進級の際、クラス人数が増えるので、年度初めのしばらくの間は、新入園児と進級児の遊びの空間を分けるなど、落ち着いて過ごせるよう配慮しています。 ・子どもの発達や状況に応じて、クラスごとに、月間指導計画・週案を作成し、クラス会議や乳児会議・幼児会議などで話し合い、評価・見直しをしています。 ・登降園時の保護者との会話や、クラス懇談会での意見などを考慮し、指導計画に反映させるようにしています。 	


評価分類 I-3 快適な施設環境の確保	評価結果
<ul style="list-style-type: none"> ・清掃チェック表に基づき、毎日掃除をおこない、屋内・屋外とも清潔に保っています。 ・各保育室に空気清浄機および加湿器を設置しています。職員が、温湿度計を確認し、適切な温湿度となるように調整しています。毎日、決められた時間に温度・湿度を確認し、日誌に記録しています。 ・それぞれのクラスの音が、お互いの活動の妨げにならないよう、あらかじめ保育士間で話し合い調整しています。 ・0歳児室に沐浴設備があり、清掃管理が十分にされています。 ・保育室内に、衝立を用いたり、カーペットを敷いたりしてコーナーを作り、子どもが集中して遊ぶことができるようにしています。 ・食事と午睡の場所は同じ部屋ですが、食事後、テーブルを片隅に寄せて午睡スペースを確保するなど、時間によって使い分けています。 	


評価分類 I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力	評価結果
<ul style="list-style-type: none"> ・乳児については、毎月個別指導計画を作成しています。幼児は、特別な課題のある子どもがいる場合は個別指導計画を作成することとし、書式が準備されています。 ・個別指導計画は、定期的な見直し以外にも、状況に大きな変化があった場合は、月の途中でも変更・見直しをしています。また、離乳食やトイレトレーニングの開始時期など、保護者と話し合い、個別指導計画に反映させています。 ・子どもや家庭の個別の状況・要望などを、決められた書式に記録しています。 ・子どもの記録を個人別にファイルし、事務室の書庫に保管、全職員が必要に応じ見ることができるようにしています。 	


評価分類 I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none"> エレベーターを設置しており、廊下から各室へのドアは吊り下げ方式で、床にレールを設けず、凹凸の無い構造となっており、バリアフリーに配慮しています。 職員は、特に配慮を要する子どもの保育や障害児保育に関する研修に参加しています。参加した職員は研修報告書を作成、回覧するなどして全職員が情報を共有できるようにしています。 虐待対応マニュアルを作成し、全職員に周知しています。マニュアルには、虐待の定義などが記載されています。 虐待が明白になった場合や、虐待が心配されたり見守りが必要な場合には、港北福祉保健センターや横浜市北部児童相談所に通告・連絡し、連携して対応することとしています。 アレルギー疾患のある子どもの場合、医師からの「保育所におけるアレルギー疾患生活管理表」に基づき、保護者と話し合い、適切な対応をしています。管理表は、横浜市の標準書式をもとに、より詳細な情報が得られるように法人独自の書式の書類に記入してもらうようにしています。 食物アレルギーのある子どもの場合、次月の献立表中で、該当する食材に色付けして保護者に知らせ、確認・同意を得ています。除去食を提供する場合は、色のついたトレイを用い、子どもの座る机には名前シールを貼っています。重度のアレルギー児の場合は、食器や調理器具も専用のものを使用しています。 外国籍の子どもなどが入園する場合は、家庭での生活習慣を細かく確認し、全職員に情報を周知して、文化や考え方の違いを尊重しています。 文化や生活習慣の違いが異なる国や地域があることを、絵本などを通じて子どもたちが知ることができるようにしています。 	


評価分類 I-6 苦情解決体制	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none"> 苦情処理マニュアルを定め、苦情の受付担当者は副施設長、苦情解決責任者は施設長であることや、第三者委員（2名）に直接苦情を申し立てできることなどを、園のしおりに記載し保護者に周知しています。また、苦情解決の仕組みの概要をフローチャート形式で表し、玄関に掲示しています。 玄関に、意見箱を設置しています。また、クラス懇談会や運営委員会などで要望や意見を聞いているほか、行事や保育参観の後に、保護者に対しアンケートをおこなっています。 外部の権利擁護機関として、横浜市福祉調整委員会のポスターを玄関に掲示し、保護者に知らせています。 要望や苦情などがあった場合は、会議で報告し、職員と共有しながら解決策を立てています。また、連絡ノートに記載された意見や要望も記録するようにしています。 	


<p>評価分類Ⅱ－１ 保育内容〔遊び〕</p>	<p>評価結果</p>
	
<ul style="list-style-type: none"> • 年齢や発達に応じたおもちゃや絵本等は子どもの目の高さにある棚に置かれ、自分で取り出せるようになっています。棚にはおもちゃの写真が貼られており、子どもたちが片づけやすいようになっています。幼児クラスにはカードゲームやパズル、粘土、ブロック、教材、子どもの衣装になる布などが整理され、自由に遊べるようになっています。 • 幼児はままごとコーナーにマットを敷いたり、テーブルを置いた制作コーナーを設けたり、制作した衝立を囲いにしたり、子どもたちが自分たちから遊びたくなるような環境作りをし、子どもたちが落ち着いて遊べるようにしています。 • 子どもたちの自由な発想を受け止め、集団活動に取り入れています。幼児クラスでは拾ってきたどんぐりを転がす遊びから、トイレットペーパーの芯を縦半分切って壁に貼り付け、ピタゴラスイッチのように次々につなげて転がす遊びに発展し、それは廊下側の壁一面に広がり、乳児クラスの子どもたちも遊びにきて楽しみました。 • 夏にはプランターでオクラ、トマト、ナスを栽培し、収穫して給食に出してもらったり、園庭でサツマイモを育て、芋ほりをするなどの体験をしています。また、バッタやカブトムシを飼育、観察し、命の大切さを伝え、描画や制作活動につなげています。 • クレヨン、はさみ、のり、折り紙、粘土のほか、保護者にも協力を得て卵パックやトレイ等廃材を集め、子どもたちは自由に制作したり、描いたりしており、また、好きなときに歌ったり、踊ったりして表現しています。 • 子ども同士のけんかについて、保育士はけがの危険がない限り、子ども同士で解決できるようにそばで見守っています。保育士はお互いの気持ちを言葉で表せるように言葉を足したり、気持ちを代弁する等援助しています。 • 屋外に出るときはネックカバーのついた帽子を着用し、夏季は園庭に遮光ネットを張り、虫よけジェルをつける等配慮しています。 • 発達過程に応じて、運動能力が高められるような遊びを取り入れ、マットや平均台等の遊具を使う等、工夫しています。3歳以上には運動プログラムがあり、活動に取り入れています。 	

評価分類Ⅱ－１ 保育内容【生活】	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが楽しく食べることを第一に考え、体調も考慮した上で完食の喜びが味わえるように適量を配膳しています。保育士は残すことを叱ったり、無理強いすることはありません。苦手な物には一口でも食べられるように励ましています。職員間で話し合って共通の理解を持っています。 子どもたちが自分たちから食べようとする意欲を大事にし、穏やかな雰囲気の中で食事が楽しくなるような言葉かけをしながら、年齢にあった援助をして、食事がすすむよう配慮しています。 安全性を考慮して、国産の旬の食材や無添加の製品を使っています。季節感のある献立がたてられており、毎月「物語メニュー」と称して、絵本のお話からメニューを作り、献立に取り入れる等、工夫しています。 栄養士は子どもの好き嫌いや喫食状態について、毎日の残食状況や保育士からの報告で把握し、盛り付けや調理方法等を工夫しています。 毎日の給食のサンプルは玄関に掲示されています。また、子どもたちに好評だったレシピが置かれ、自由に持ち帰ることができ、保護者が園で提供する食事に関心が持てるように配慮しています。 午睡時は部屋にカーテンを引いて、ほどよい暗さにし、保育士は身体をさすったり、静かなピアノ曲を流す等、子どもたちが心地よい眠りにつけるように工夫しています。また、乳幼児突然死症候群に対する対策として、保育士はチェック表を用いて、0歳児クラスは5分おき、1歳児クラスは10分おきに顔色、呼吸を身体に触れて確認しています。 トイレトレーニングは家庭と連絡を取りながら、一人一人のペースに合わせて対応しています。 	

評価分類Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理【健康管理】	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none"> 健康管理に関するマニュアル、感染症への対応マニュアルがあります。 毎朝登園時に保護者が検温しています。保育士は子どもの様子を見て保護者に確認し、普段と違う様子がみられた場合は引き継ぎ表に記入し、保育士間で共有しています。 入園時に既往症や予防接種についての情報を児童健康台帳に保護者に記載してもらっています。また、毎年保護者に追記してもらい、その情報は職員間で共有しています。 子どもたちは歯科健診の際に、歯科衛生士による赤染めチェックを体験したり、歯の模型を使って歯磨き指導を受けています。0歳児の後半から、食後の歯磨きをしており、保育士が仕上げ磨きをおこなっています。 年2回の健康診断、1回の歯科健診があり、健診結果に基づき、嘱託医と相談し、連携しています。日頃から、近隣の医師や港北福祉保健センターの保健師とは相談できる体制が作られています。 保護者には入園のしおりや入園説明会で、感染症の一覧や対応、登園停止期間、登園許可書等の説明をしており、また、保育室にも掲示されています。感染症が発生した際には玄関にその病名や詳細を掲示するほか、必要に応じて、一斉メールで知らせるなどしています。 	

評価分類Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 【衛生管理】	評価結果
<ul style="list-style-type: none"> 衛生管理マニュアルがあり、マニュアルの見直しは年度末の職員会議でおこなっています。マニュアルの内容を全職員が共有するために、定期的に研修をおこなっています。 マニュアルに基づき、清掃チェック表を用いて、保育室やトイレ、調乳室、調理室等の清掃がおこなわれており、清潔に保たれています。 	

評価分類Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 【安全管理】	評価結果
<ul style="list-style-type: none"> 安全管理に関するマニュアルがあります。 遊具棚には、転倒防止シートを敷き、引き出しには防災用ベルトを留める等、安全対策をしています。 避難訓練の年間計画表があり、毎月１回、地震や火災、不審者対応等の訓練をしています。 保護者の緊急連絡先、診察科目別の医療機関連絡先、港北区役所、警察署、消防署、警備会社、運営会社等連携機関との連絡体制は確立されています。 子どものケガ等は事故報告書に記録し、職員会議等で再発防止を検討しています。また、運営会社の事故防止チームが系列園全園の統計を取りまとめ、分析をおこない、各園にフィードバックして、再発防止への意識を高めています。 	

評価分類Ⅱ－３ 人権の尊重	評価結果
<ul style="list-style-type: none"> 保育士は子どもたちにわかりやすい言葉で話し、子どもたちをせかしたり、強制したりせず、本人のペースを大事にしています。保育士の声のトーンも穏やかで、子どもの気持ちや発言を受け入れるよう、子どもの目線に合わせて、話しかけ、子どもの話に耳をかたむけています。 保育中に保育士の言葉遣いや態度で気になるようなことがあれば、その場で副施設長が声をかけたり、会議のテーマにして、一人一人が振り返る機会を作るなどしています。また、定期的に言葉掛け研修をおこない、マニュアルの読み合わせをして、職員間で周知しています。 必要に応じて、事務室や廊下のコーナー等、子どもに威圧感を与えずに一对一で話し合える場所があります。また、必要に応じて、ロールスクリーンや仕切りを利用して、プライバシーを守る場所を確保できるように工夫しています。 個人情報取り扱いについてはガイドラインを作り、全職員に周知しています。また入園のしおりに記載し、保護者には入園説明会で説明し、同意を得ています。 遊びや行事の役割、持ち物、服装、制作物等で性差による区別はせず、子どもたちの気持ちを尊重しています。また、子どもや保護者に対して、父親や母親の役割を固定的にとらえた話し方、表現をおこなわないよう保育士は心掛けています。性差について日ごろの保育で気になったことがあった場合は運営会議で話し合い、それを職員にも伝え、気づきあう仕組みがあります。 	


評価分類Ⅱ－４ 保護者との交流・連携	評価結果
<ul style="list-style-type: none"> 保護者にはしおりや入園説明会、進級時の懇談会で基本方針を説明しています。また、いつでも保護者が確認できるようにしおりは玄関に置いてあります。また、毎月の園だより、クラスだより、その日の活動報告、連絡帳等で保育方針が理解されるように努力しています。 個別面談は年に1度、6月におこなっています。面談前にはアンケートを取り、保護者の意向や家庭での様子を把握したうえで面談をしています。また、期間以外でも保護者から面談の要望があれば、随時受け付けています。 相談内容を人に聞かれることがないように、相談室等を使い、保護者が落ち着いた状態で話し合える環境に配慮しています。また、相談は面談シートを用いて効率的に話を進められるようしています。相談内容は記録され、職員間で共有し、継続的な支援がおこなえるようになっています。 保育参観を年に1度（期間は約7日間に設定）設けて、おこなっています。乳児は廊下側や園庭側から参観し、幼児はクラスに保育室に入って参観しています。希望があれば、いつでも参観できるようにしています。 乳児は連絡帳を使って毎日きめ細かく保護者と情報交換をしています。幼児は必要に応じて、連絡帳を用い、情報交換をしています。また、1週間の活動予定は全クラス分玄関に掲示されており、各クラスのその日の保育内容は1階廊下の壁に掲示されています。今後は、アンケートの結果を踏まえ、時にはイラストや写真を使ったり、紙面を大きくする等、伝え方のさらなる工夫が期待されます。 	


評価領域Ⅲ 地域支援機能


評価分類Ⅲ－１ 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供	評価結果
<ul style="list-style-type: none"> 施設長は港北区園長会や私立園長会、幼保小連絡会のほか、保護者支援、保育士不足等の検討会、研究会に出席し、話し合いの結果をもとに職員と地域の子育て支援ニーズについて話し合っています。 園見学者の相談は受けていますが、開園2年目ということもあり、園庭開放や保育に関する講習・研修会等の子育て支援サービスはおこなわれていません。今後は、定期的な子育て支援サービスがおこなわれることが期待されます。 	

評価分類Ⅲ－２ 保育所の専門性を活かした相談機能	評価結果
<ul style="list-style-type: none"> 港北区こども家庭支援課や港北福祉保健センター、近隣の医療機関等関係機関はリスト化され、職員がわかる場所に掲示してあり、日頃から連携がとれています。 調査時点では定期的な育児相談は実施されていないので、今後は、定期的に相談日を設け、地域に周知し、保育園の専門性を活かした育児に関する情報等を提供することが期待されます。 	


評価領域Ⅳ 開かれた運営


評価分類Ⅳ－１ 保育所の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none">・運動会や夏祭り、発表会等の行事に町内会長等近隣住民を招待しています。・横浜市大豆戸地域ケアプラザに来ている高齢者と定期的に交流をしています。子どもたちがクリスマスに訪れて歌を披露したり、色紙を一緒に折る等交流をしました。今後も年長児が作ったカレンダーを持って訪問したり、小麦粉粘土を高齢者と一緒にする計画があります。・子どもたちは日常の散歩で地域住民と挨拶をするほか、食育で使う食材を近隣の店舗に買い物に行き、会話する等交流しています。・調査時点では地域への施設開放や備品の貸し出しの実績はありませんが、今後は絵本の貸し出しを検討しています。	


評価分類Ⅳ－２ サービス内容等に関する情報提供	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none">・保育園のしおり、ホームページ、港北区地域子育て支援拠点の情報誌等に基本方針や理念、利用条件、料金、サービス内容等必要な情報を提供しています。・利用希望者には見学ができることをホームページ等で案内しており、24時間ネットから予約できる仕組みがあります。・見学日、時間帯は設定していますが、見学者の都合に合わせ、柔軟に対応しています。	

評価分類Ⅳ－３ ボランティア・実習の受け入れ	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none">・ボランティアを受け入れるためのマニュアルがあり、受け入れにあたり、基本的な考え方や方針を十分理解できるように職員や保護者に説明しています。・地域のボランティアグループに港北区の歴史について、子どもたちに話してもらい、ボランティアの感想や意見を職員間で周知しています。・実習生を受け入れるためのマニュアルが整備されていますが、調査時点では実習生の受け入れ実績はありません。今後は実習生を積極的に受け入れていくことが期待されます。	


評価領域V 人材育成・援助技術の向上


評価分類V-1 職員の人材育成	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none">・園運営に十分な人材構成となるように、経験年数等を考慮し、必要に応じて人材補充をおこなっています。・一人一人の職員が、「スタッフできたかな表」に沿って、毎年、自己目標を設定し、年2回、施設長と面談し、達成度評価をおこなっています。・園内研修は、全員参加の職員会議と同じ日におこない、全職員が受講できるようにしています。・職員は、運営会社がおこなう研修や、横浜市こども青少年局などがおこなう外部研修に参加しています。外部研修に参加した職員は、研修報告書を作成、回覧するなどして全職員が情報を共有できるようにしています。・非常勤職員にも、保育マニュアルやハンドブックを配付しています。また、非常勤職員も、常勤職員と同様に、職員会議や園内研修に参加しています。	


評価分類V-2 職員の技術の向上	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none">・外部研修などで、他園の工夫・改善した良い事例を得た場合は、会議で報告しています。また、年2回、系列園間で視察研修をおこない、他園の保育内容の工夫点を取り入れられるようにしています。・年間指導計画・月間指導計画・週案に、自己評価の欄を設けています。自己評価は、計画で意図したねらいと関連付けておこない、子どもの意欲や取り組む姿勢がどうであったかななどを重視しています。・保育に関する自己評価・反省を、次の週案・月間指導計画・年間指導計画の作成に反映させています。また、職員は、「スタッフできたかな表」による達成度評価の反省点などを踏まえ、次年度の自己目標設定につなげています。・園の自己評価は、保育理念や保育目標、保育課程に沿っておこない、評価結果を、園のホームページで公表しています。	

評価分類V-3 職員のモチベーションの維持	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none">・人事考課表に、経験年数や職位に応じた役割・期待水準を明記しています。・日常の保育や保護者との対応など、それぞれの担当者が、責任を持って対応するようにしています。・会議の場だけでなく、いつでも施設長や副施設長（主任クラス保育士）に、改善提案や意見を述べるができるようにしています。さらに、副施設長のほかに、チーフ保育士を配置し、職員が意見を述べやすくしています。・施設長は、年2回、職員と個別面談し、満足度・要望などを把握しています。また、職員は、運営会社の担当者と面談する機会があり、要望などを伝えることもできます。	

評価領域VI 経営管理

評価分類VI-1 経営における社会的責任	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none">• 全職員に配布されるハンドブックに、職員として守るべきルールや全国保育士会倫理綱領などを記載して、周知しています。また、職員採用時の研修で、規範とすべき事項を伝えています。• 他施設の不正・不適切な事例を入手した場合は職員会議などで報告し、職員に周知・啓発しています。• ゴミの分別をしています。保育室内のゴミ箱にも分類の表示をし、子どもたちにもわかるようにしています。分別に関する知識や情報を回収事業者から得て、職員に周知しています。• 無駄な電灯をこまめに消すなど、省エネルギーに努めています。また、園庭には芝生を張り、緑化に取り組んでいます。	

評価分類VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none">• 保育ハンドブックに、保育理念・保育目標・保育方針を記載し、全職員に周知しているほか、園内に掲示しています。また、職員会議で、随時、保育理念・保育目標・保育方針を説明しています。• 施設長は、朝夕の送迎時にできるだけ保護者とコミュニケーションを取るようになっています。また、クラス懇談会や運営委員会などで、意見交換しています。大きな変更等がある場合は、事前に運営委員会に諮っています。• 重要事項が決定されたときは、職員会議などで目的・決定理由・経過などを十分に説明しています。また、保護者には、掲示や文書で知らせています。• 副施設長（主任クラス保育士）は、日々現場に出て個々の職員の業務状況を把握しているほか、乳児会議、幼児会議などにも出席し、個々の職員の能力や経験に合わせた確かな助言や指導をおこなっています。• 副施設長は、職員にできるだけ声かけし、その日の状況に応じて応援体制を組むなどの配慮をしています。	

評価分類VI-3 効率的な運営	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none">• 事業運営に影響のある情報は、運営会社の施設長会議で得ています。重要な情報や施設長会議での決定事項は、副施設長やチーフ保育士に伝えるほか、必要に応じ、リーダー会議、職員会議で職員に知らせています。• 運営会社で、中期事業計画（2016年4月～2019年3月）を作成しています。それに基づき、保育事業部として運営やサービスの新たな仕組みを検討しています。• 施設長は、運営会社の研修で、運営に関する外部の専門家の講義を受け、園の運営に活かすようにしています。また、運営委員会のメンバーである有識者の意見も取り入れるように努めています。	

◆利用者家族アンケート分析◆

【実施概要】

- 実施期間：平成28年11月7日～11月21日
- 実施方法：利用者全員の家族に対し、保育園から直接手渡して配付、評価機関に郵送で直接送付してもらった。
- 回収率：配付59件、回収38件、回収率64.4%

【結果の特徴】

【問1】の「園の保育目標や保育方針を知っているか」については、81.6%の保護者が「よく知っている」「まあ知っている」と答え、そのうち96.7%の保護者が、保育目標や保育方針について「賛同できる」「まあ賛同できる」と答えています。

【問2】「入園する時の状況」の設問の6項目のうち、「園の目標や方針の説明」「入園時の面接などで子ども様子や生育歴などを聞く対応」「費用やきまりに関する説明」の4項目で、約50%の保護者が「満足」と答えています。

【問3】～【問7】の設問では、多くの項目で「満足」の回答が50%を超えています。そのうち、数値の高い項目を5つ挙げると、次の通りです。

- 問7「職員の対応」子どもが保育園生活を楽しんでいるか”……………78.9%
- 同上”子どもが大切にされているか”……………65.8%
- 同上”話しやすい雰囲気、態度であるか”……………65.8%
- 問5「保育園の快適さや安全対策」子どもが落ち着いて過ごせる雰囲気か”……………65.8%
- 問3「日常の保育（生活）」基本的生活習慣の自立に向けての取り組み”……………63.2%

【問3】～【問7】の設問で、「不満」「どちらかといえば不満」の回答が多かったのは、次の項目です。

- 問6「園と保護者との交流・連携」送り迎えの際、子どもの様子に関する情報交換”……………21%
- 問4「日常の保育（遊び）」自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動”……………15.8%
- 問4「日常の保育（生活）」昼寝や休憩が子どもの状況に応じて対応されているか”……………13.2%
- 問5「保育園の快適さや安全対策」外部からの不審者侵入を防ぐ対策”……………13.2%
- 問6「園と保護者との交流・連携」保護者からの相談事への対応”……………13.1%

【問8】の総合満足度は、「満足」が52.7%、「どちらかといえば満足」44.7%（合わせて97.4%）です。

・自由記述欄には、「子どもは毎日楽しく保育園に通っている」「子どもの面倒をよく見てくれている」「催し物のときの先生方の力が素晴らしい」などの声があります。一方、「外遊びの割合が増えると良い」「その日の子どもの様子をもっと知りたい」「英語教育を取り入れて欲しい」などの意見があります。

パレット大豆戸保育園 利用者家族アンケート集計結果

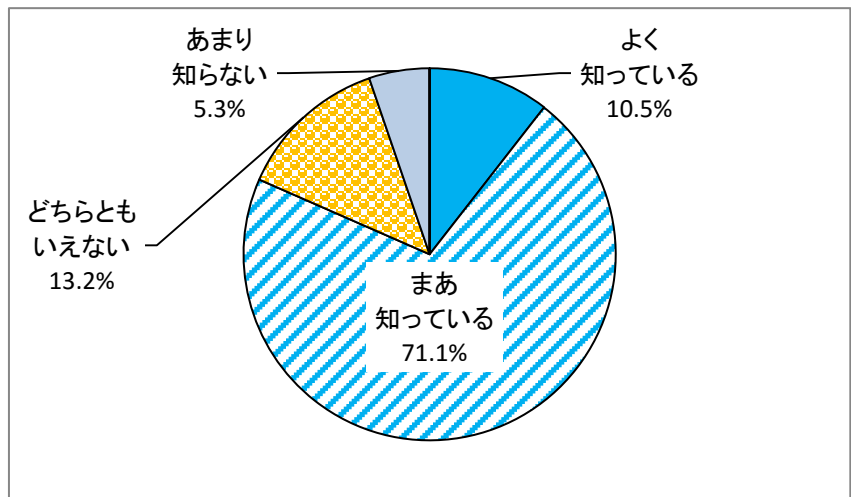
実施期間	平成28年11月7日～11月21日
調査対象	利用者家族
配布世帯数	59件
有効回答数	38件
回収率	64.4%

お子さんのクラス	0歳児クラス	1歳児クラス	2歳児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス	無回答	(人)
	6	7	10	8	5	2	0	

※2人以上在籍の場合、下のお子さんのクラスで回答

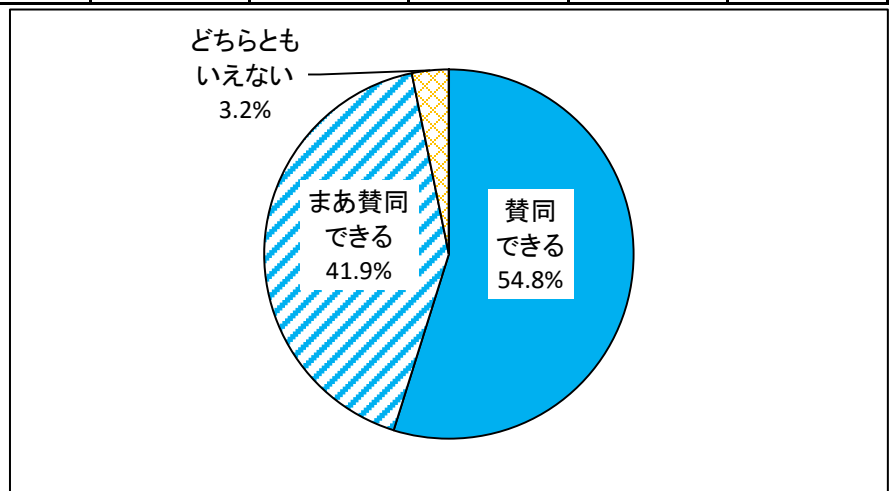
問1 保育園の基本理念や基本方針について

	よく知っている	まあ知っている	どちらともいえない	あまり知らない	まったく知らない	無回答	(%)
あなたは、この園の保育目標や保育方針をご存じですか	10.5	71.1	13.2	5.3	0.0	0.0	



1 よく知っている 2 まあ知っている とお答えの方へ

付問1	賛同できる	まあ賛同できる	どちらともいえない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答	(%)
あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか	54.8	41.9	3.2	0.0	0.0	0.0	



問2 入園する時の状況について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	(%)
見学の受け入れについては	39.5	31.5	2.6	0.0	23.7	2.6	
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	42.1	42.1	7.9	0.0	5.3	2.6	
園の目標や方針についての説明には	47.4	47.4	5.3	0.0	0.0	0.0	
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には	50.0	28.9	13.2	2.6	2.6	2.6	
保育園での1日の過ごし方についての説明には	34.2	57.9	2.6	2.6	0.0	2.6	
費用やきまりに関する説明については	47.4	44.7	0.0	5.3	0.0	2.6	

問3 保育園に関する年間計画について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	(%)
年間の保育や行事についての説明には	42.1	50.0	5.3	2.6	0.0	0.0	
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	39.5	52.6	0.0	2.6	5.3	0.0	

問4 日常の保育内容について「遊び」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	(%)
クラスの活動や遊びについては	52.6	42.1	5.3	0.0	0.0	0.0	
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	42.1	44.7	5.3	7.9	0.0	0.0	
園のおもちゃや教材については	47.3	47.4	5.3	0.0	0.0	0.0	
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	36.8	42.1	10.5	5.3	5.3	0.0	
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もてているかについては	50.0	42.1	7.9	0.0	0.0	0.0	
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	42.1	44.7	10.5	0.0	2.6	0.0	

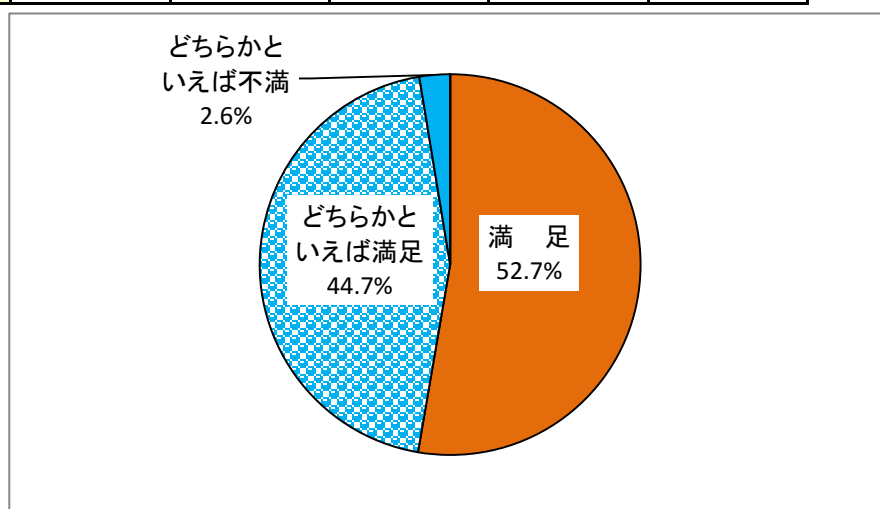
「生活」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	(%)
給食の献立内容については	52.6	36.8	7.9	0.0	2.6	0.0	
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
基本的な生活習慣の自立に向けての取り組みについては	63.2	26.3	7.9	0.0	2.6	0.0	
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	52.6	31.6	13.2	0.0	2.6	0.0	
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	39.5	21.1	10.5	2.6	23.7	2.6	
お子さんの体調への気配りについては	52.6	39.5	5.3	0.0	2.6	0.0	
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	52.6	36.8	10.5	0.0	0.0	0.0	

問5 保育園の快適さや安全対策などについて	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	(%)
施設設備については	44.7	47.4	5.3	0.0	2.6	0.0	
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	65.8	28.9	5.3	0.0	0.0	0.0	
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	42.1	44.7	13.2	0.0	0.0	0.0	
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	52.6	31.6	10.5	2.6	2.6	0.0	

問6 園と保護者との連携・交流について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	(%)
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	39.5	52.6	5.3	0.0	2.6	0.0	
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	50.0	44.7	5.3	0.0	0.0	0.0	
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	60.5	36.8	2.6	0.0	0.0	0.0	
送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換については	28.9	47.4	18.4	2.6	2.6	0.0	
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	34.2	55.3	10.5	0.0	0.0	0.0	
保護者からの相談事への対応には	42.1	44.7	10.5	2.6	0.0	0.0	
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応については	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

問7 職員の対応について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	(%)
あなたのお子さんが大切にされているかについては	65.8	34.2	0.0	0.0	0.0	0.0	
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	78.9	21.1	0.0	0.0	0.0	0.0	
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	37.8	35.1	2.7	0.0	18.9	5.4	
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	65.8	26.3	5.3	0.0	2.6	0.0	
意見や要望への対応については	55.3	42.1	0.0	2.6	0.0	0.0	

問8 保育園の総合的評価	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答	(%)
総合満足度は	52.7	44.7	2.6	0.0	0.0	



◆利用者本人調査◆

【実施概要】

- 実施日時：平成29年1月23日、1月25日
- 実施方法：午前中の保育観察時間を中心に、各クラスの観察を実施、また幼児とは会話の中で適宜聞き取り調査を実施。

●0歳児クラス

子どもたちは自動車を走らせたり、保育士の膝で絵本を読んでもらったり、手作りの円柱形のおもちゃを積んでは倒したり、短く切ったホースを蓋に穴を開けてある容器にポトンポトンと落としたり、好きな遊びを楽しんでいます。「オムツを換えてもいいですか？」保育士は優しく声を掛けながら、順番にオムツを交換します。そろそろ自分の番かな？と思っているのか、近寄って来る子どももいます。「ありがとう。来てくれたのね。順番だから待っていてね。」と保育士は声をかけます。オムツ交換が終わると子どもは保育士の膝の上でズボンに足を入れ、よいしょ、と自分で引っ張りあげています。「今日はお散歩に行きましょう。お片付けしてね」と保育士が言うと、子どもたちは遊んでいたおもちゃをかごや遊具棚に戻しています。

靴下、帽子、ジャンパーと身支度が整ったら、保育士は「〇〇くん、〇〇くん、どこでしょう？」と歌います。子どもたちは「はーい」と手を上げたりしています。

今日は大豆戸公園まで散歩に行きますが、バギーに乗る子どもと歩いて行く子どもがいます。パトカーや救急車が通り、その都度子どもたちは歓声をあげ、指差ししています。工事現場ではコンクリートミキサー車やコンクリートポンプ車が動いていて、しばらく見ていました。部屋にある絵本の中に出て来るシーンと同じで、保育士は「届かな？と同じだね」と声をかけています。（この絵本は食事前にみんなで見ました）大豆戸公園では園から持って来たカップやスコップ、トレイを使って砂場でままごとをして遊びました。お茶を飲んで園に戻ります。

●1歳児クラス

大豆戸公園に保育士と手をつないで散歩に行きます。幹線道路沿いやバスの車庫横や工事現場を通るので、子どもたちの興味を引く物ばかりあり、その都度立ち止まって見たり、「どこへ急いで行くんだろうね」など会話しながら、子どもたちのペースでゆっくり歩いて行きます。公園に着いたらまずみんなで追いかけてこです。保育士に追いかけて、歓声を上げながらみんな元気に走っています。身体が温まったところで好きな遊びが始まります。「追いかけて～」と言って走る子どもには保育士が「まてまて～」と追いかけています。丸く環がついたベンチにまたがり、運転席に見たてている子どもがいます。運転手になりたい子どもが次々来るので、保育士は「1、2、……おまけのおまけの汽車ポッポ～」とそばで歌い、子どもたちは順番に交代して遊びます。保育士は「交代が上手だね～」「〇〇くんの次だね」など声を掛けると、子どもたちは「うん」とにこにこしています。小さな枝を拾ってきて地面に線を描く子ども達もいます。保育士も枝を持って来ると「アンパンマン描いて～」等、次々リクエストに応じて描き、地面にたくさんいろいろな絵や模様ができます。丸くなっているベンチの下をくぐったり、ベンチをバスに見立てたり、石を拾ったり、いろいろな遊びが続きます。お茶を飲んでまたゆっくりと園に戻りました。

給食は3テーブルに分かれて食べます。どの子どももスプーン、フォークを上手に使い、落ち着いて食べています。散歩に出かけ、よく歩き遊んだので、食欲旺盛です。「おいしいね」「よく噛んでね」等、保育士は声をかけ、時折、皿のおかずを集める等援助します。

●2歳児クラス

朝の合同保育から2歳児室に入ると、オムツを換えてもらったり、トイレに行ったり、オムツからパンツにはき替えたり、時折保育士に手伝ってもらいながら自分たちで身支度を整えます。今日の予定を聞いたあと、園庭へ出ます。子どもたちは元気に走り回ります。園庭の隅には梅の木があり、何人かが花が咲いているのを見つけました。保育士は「こっちの木にも咲いているね。」「蕾もたくさんあるね」等、子どもたちと木を見上げて話しています。保育士が子どもたちをフェンス沿いに集めます。「チョコレートチームさん」「うめぼしチームさん」とグループごとに呼ばれ、「よーい、どん！」で、反対側に走ります。走るのが終わると次は両手を広げてスキップしたり、手を前に出してスキップしたり、いろいろなバリエーションで、グループごとに往復しました。友達と並んで顔を見合わせながら、どの子も楽しそうです。

給食は保育士が配るエプロンを自分たちで着けて配膳を待ちます。「机とお腹、あってるかな？」と言う保育士の言葉かけに姿勢を正しています。メニューを聞いたあと、給食の歌を歌い、「いただきます」をします。壁の時計に色紙が貼ってあり、保育士は「ピンクの所までに食べようね」と声をかけます。保育士は姿勢が悪くなっている子どもには「足はどうするんだっけ？」と声をかけたり、「上手にピカピカにできたね」「かっこいいね」など、一人一人の子どもに声をかけながら援助しています。子どもたちは「美味しいね」「これ好き」などおしゃべりしながら食べています。食後はテーブルで歯磨きをしたあと、仕上げ磨きを保育士にしてもらい、口をゆすいで、パジャマに着替えます。自分のパジャマ袋を持ってきて着替え、脱いだ洋服も畳んで仕舞います。畳むのがうまくできない子どもには保育士が手伝っています。

●3歳児クラス

朝の合同保育から3歳児室に入るとタオルやジャンパーを掛けたり、コップや水筒、連絡帳を出したり、各自で準備をします。用意が終わった子どもはブロックやラキュー(立体パズル)、ミニカー等で遊び始めます。準備が終わらないのに、友達のしている遊びが気になり、じっと見ている子どももいます。「遊びたくなっちゃった気持ちはわかるけれど、朝のお約束だったよね、先に片づけてから、ゆっくり遊ぼう！」と保育士は準備を促し、リュックの中からタオル等を出したり、掛けるのをそばで見守っています。説明書を見ながらラキューを作っている子どもがいますが、なかなかうまくできません。保育士と一緒に説明書を見ながら手伝っていますが、完成する前に片づけの時間になりました。片づけたくない！と言う子どもに「また続きをしようね、ここに取っておくからね」と棚の上に置いたので、納得して片付けました。

朝の集まりではみんな元気に挨拶をし、季節の歌を大きな声で歌いました。水筒を持ち、園からすぐ近くにある塚田公園に散歩に出かけます。公園に着くと、子どもたちは鬼ごっこをしたり、かくれんぼをしたり、ブランコ、滑り台、鉄棒をしたり、数人で、または一人で自由に走り回って遊んでいます。風の冷たい日でしたが、子どもたちは走り回って暑くなり、ジャンパーを脱いでベンチに置いたり、お茶を飲みに来たりしています。近くの親子が遊びに来ました。保育士も子どもたちも挨拶をして一緒にすべり台を滑ったり、砂場で遊んだりしています。

給食は保育士が配膳します。子どもたちは賑やかにしゃべりながら食べています。時折、「手も動かしてね」と言われ、慌てて食べる姿もありました。おかわりする子もいて、みんな意欲的に食べています。

●4・5歳児クラス

朝の自由遊びの時間はテーブルでオセロ、お絵描き、塗り絵をしたり、床でブロックをしたり、劇で使う間仕切りを用いて数人でおうちごっこをしています。フリースの布をドレスのようにまったり、大型ブロックに布をかけ、テーブルにして、上にはビー玉を食べ物に見立て、皿に盛り付けたりしています。勇者の様にフリースの布をマントにし、頭にベルトを巻いている子どももいます。遊んでいたものを友達に勝手に片付けられた、と保育士に言いに来る子どもがいます。保育士は「言いたいことがあったら、〇〇ちゃんに自分で言ってごらん、言わないとなんで怒っているのかわからないよ。お話ししてきてごらん」と伝えます。その子どもは「勝手に片づけて嫌だった」と伝えると、「遊んでいるの知らなかった、ごめんね」と返事があり、仲直りできました。

園庭では、運動プログラムにある「妖怪退治」をします。保育士は子ども達一人一人にお札を渡します。子ども達は逃げる保育士を走って追いかけて、ジャンパーにお札を貼り付けます。全員のお札が貼られたら妖怪は退散です。次は「けんけん相撲」です。子ども達は2組に分かれ、向いあって並びます。保育士が「ひが～し 〇〇山」「に～し △△海」等名前を取ったしこ名で呼ぶと出てきて対戦です。腕は胸の前で組み、けんけんを押し合います。足がついた方が負けです。保育士は勝ち名乗りをして、また次の対戦となります。最後にどちらのチームに勝った子が多いか発表し、勝ったチームは歓声が上がります。水筒のお茶を飲んだら自由遊びです。ドロケイをしようと集まって鬼ごっこが始まります。遊びが途切れたところで保育士が「どんぐりころころ」と声をかけると子どもたちは芝生の上をごろごろと転がります。枯れた芝がつきますが、みんな気にせず嬉しそうに転がっています。その後、腰を落とし、両膝をまげて「かえる跳び」やお尻をつけて進んでいく「座り遊び」等全身をしっかりと使って遊びました。お茶を飲んで部屋に戻り、手洗い、うがいをし、洋服を着替えるかどうか自分で考えます。

給食は調理室の窓から配膳台に出された食事を自分たちで順番に取りに行き、テーブルに置きます。全員の準備ができたところで、当番2人が前に出て、「いただきます」を言います。おしゃべりをしながらも食事はよく進み、おかわりをする子どもも多くいます。

◆ 事業者コメント ◆

パレット保育園・大豆戸は「大きな家族」という理念のもと、子どもたちひとりひとりに生きる力を養っていただけるような日々の生活や園環境を目指しております。

今回、第三者評価を受審するにあたり、職員と改めて日頃の保育についてや園内の環境について話し合い、見つめ直すことができました。

また、客観的な視点から考えたり振り返ることができ、保育園としての質の向上を目指して、より一層意欲を高めているところです。

今後は地域・社会への貢献や連携も念頭にさらなる発展を目指していきたいです。

福祉サービス第三者評価 評価機関

特定非営利活動法人 よこはま地域福祉研究センター

〒231-0013 横浜市中区住吉町二丁目 17 番地 金井ビル 201 号室

TEL : 045-228-9117 FAX : 045-228-9118

URL : www.yresearch-center.jp/ Email : top@yresearch-center.jp



かながわ福祉サービス第三者評価認証機関 第 26 号

横浜市福祉サービス第三者評価指定機関 第 17 号

川崎市福祉サービス第三者評価認証機関 第 14 号

横浜市指定管理者第三者評価機関 認定番号 25-01

東京都福祉サービス第三者評価認証評価機関 認証番号 機構15-232

全国社会福祉協議会社会的養護関係施設第三者評価機関 2510-002-02
